

コース概要

麻酔科専攻コース

【プログラムの目的と特色】

初期研修を終了し、麻酔科を志望する医師を対象に、一般的な麻酔管理を学習するなかで麻酔科学会麻酔科認定医、専門医取得をめざす。特に、周術期管理チーム医療の1員として、周術期の危機管理において統括者の役割を果たすことができる麻酔科医を養成する。当院は、奈良県北和地域の基幹病院であり、救命救急センター、周産期母子医療センターを付属するため多様な麻酔症例を経験することができる。また、周術期管理センターが稼働し、麻酔科医が安全に効率良く麻酔業務を行うことができる環境にある。



【研修内容と到達目標】

後期研修1年目

麻酔科専従医の指導下に基本的手技(気道確保、人工呼吸、ライン確保、心血管薬投与、モニターの理解)を確認し、各科の一般的な手術の全身麻酔、局所麻酔(硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、神経ブロック)を経験することで周術期における全身管理の知識と手技を学ぶ。手技に関しては、多様な気道確保(ラリンジアルマスク、エアートラック、トラキライト、気管支ファイバー挿管)、分離肺換気(ダブルルーメンチューブ)、腰椎穿刺、硬膜外麻酔(腰部・胸部)、超音波ガイド下末梢神経ブロック(腕神経叢ブロック、大腿神経ブロック、坐骨神経ブロック、腹横筋膜面ブロック)、(超音波ガイド下)中心静脈ライン、動脈圧ラインなどを習得する。また、症例報告を学会発表し、論文を作成する。

後期研修2～3年目

術前診察によるリスク評価を行い麻酔計画を立案する。症例に応じた麻酔を行い術後鎮痛を含めた術後管理を行う。以上の周術期管理を1人で行うことができることをめざす。指導医の助言・指導を受け、より重症な、特殊な症例も担当できる能力を身につける。心臓外科麻酔の研修は奈良県立医科大学麻酔科学教室で受ける。また、臨床研究を学会発表し、論文を作成する。

なお、麻酔科関連領域である集中治療、ペインクリニック、緩和ケア、BLS・ACLS(救急)などの知識を深めるため、積極的に研修会に参加し麻酔科医としての視野を広げる。

【週間スケジュール及び主催勉強会等】

	月	火	水	木	金
午前	麻酔 術後回診 (前日症例)	術前外来 術後回診 (前日症例)	抄読会 麻酔 術後回診 (前日症例)	術前外来 術後回診 (前日症例)	症例検討会 麻酔 術後回診 (前日症例)
午後	麻酔 術後回診 (当日症例)	麻酔 術後回診 (当日症例)	麻酔 術後回診 (当日症例)	麻酔 術後回診 (当日症例)	麻酔 術後回診 (当日症例)

適宜、麻酔科のオンコールもしくは当直を行い、麻酔科専門医・指導医と共に緊急症例の麻酔を担当する。

コース概要

【平成22年度実績】

麻酔科担当総症例数 2141例（全身麻酔 1740例、脊髄くも膜下麻酔 386例）

【指導医】

医師名	役職	医師資格 取得年	所属学会・資格等	専門領域
下村 俊行	周術期管理 センター長 兼 部長	昭和 57	日本麻酔科学会専門医・指導医、日本ペインクリニック学会専門医、 日本臨床麻酔学会、日本緩和医療学会	臨床麻酔全般、 ペインクリニック、 緩和ケア
神谷 達	医長	平 5	日本麻酔科学会専門医・指導医、日本臨床麻酔学会	臨床麻酔全般
田山 準子	医長	平 5	日本麻酔科学会専門医、日本臨床麻酔学会	臨床麻酔全般
中山 佳奈	医長	平 9	日本麻酔科学会専門医、日本ペインクリニック学会専門医、日本臨床麻酔 学会	臨床麻酔全般 ペインクリニック
福本 倫子	医員	平 19	日本麻酔科学会認定医	臨床麻酔全般
池田 真一	医員	平 20	日本麻酔科学会	臨床麻酔全般

【取得可能な認定医・専門医】

麻酔科学会麻酔科認定医、専門医

【学会認定・施設】

日本麻酔科学会認定病院